

～「人手が足りない!!」「職場が回らない!!」を部署内で解決する～

設計部門の業務量平準化による 人手不足解決方法

業務量アンバランスを「見える化」→ 平準化 → 人員捻出 → 人手不足解決!!

日時 2025年2月28日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始) ※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 角川 真也 氏 トータルマネジメントシステム研究所 代表 受講料 46,200円(資料含む、消費税込) ※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】講師独自の「見える化」ツールにより低生産性業務の発見方法が得られます。
- 【2】具体的には、設計部門の実態を数値データ(工数・金額)で定量的に「見える化」し、業務量平準化、ムダ取り、生産性向上の3ステップで改善する手法が学べます。
- 【3】設計業務の生産性向上と設計業務不良の予防、スタッフの心身不全の発症予防につながります。
- 【4】設計業務の生産性と品質に関する全データを管理するexcelフォームが得られます。

プログラム

- 業務量のアンバランスを放置し続ける恐ろしさ
 - 3つの業務量アンバランス
 - 業務量のアンバランス放置が招いた悲劇
 - ①メンタル不全発症
 - ②主力製品の無期限出荷停止処分
 - この悲劇から学ぶべきこと
 - 業務量平準化はなぜ必要か?
- 業務量平準化の前にすべきこと
 - 設計者の本音の「見える化」
 - ①困りごと
 - ②不平・不満
 - ③会社への提言
 - 既得権者(業務量の薄い人)の抵抗勢力化未然防止策
 - 業務移管を可能にするシステムの構築
 - ①なぜ業務移管は困難なのか?
 - ②業務移管に要する工数の極小化がポイント
 - ③「マニュアルの三重苦」とその解消方法
 - 使える業務マニュアル
- 業務量のアンバランスを「見える化」する
 - 1) 投入工数による部署業務の実態の「見える化」(演習あり)
 - 2) 設計者間
 - 3) 月間
 - 4) 部署間
- 業務量のアンバランスを平準化する
 - 1) 設計者間(演習あり)
 - 2) 月間(演習あり)
 - 3) 部署間
 - 4) 業務量平準化の効果(人手不足解決事例紹介)
- 質疑応答・アドバイス

受講にあたり

開催決定後、受講票並びに請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

